

## コレクション

ちょうど2年前の本欄、第8回「ラウンジの本」でもご紹介した武田代表の蔵書。ご入居者様だけでなく、来訪されたご家族や取り引きのある業者さんなど、興味のある方はどなたでも借りることができます。

その後も武田代表のコレクションは増え続け、現在では蔵書数

が800冊を超えました。今号の巻頭言で触れた沢木耕太郎氏の『右か左か』『敗れざる者たち』『テロルの決算』はもちろん、公立の図書館では予約がいっぱいで数カ月待たされることもあるという東野圭吾氏や池澤夏樹氏の著作もあります。

武田代表のコレクションは本だけではありません。CDは、クラシックから、昭和の歌謡曲、落語までとバラエティ豊か。DVDもさまざまなジャンルの映画を所有。



趣味の合うご入居者様に個人的にお貸ししたりしています。



# ふくろうの家 その20 2011年11月 だより

●発行/株式会社私の青い空  
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



### スタッフ リレーエッセー

#### 笑いの癒し

皆さんは1日にどのくらい笑っていますか? 「笑う門には福来たる」という言葉がありますが、「笑い」は日常生活に幸せをもたらす大切な行為だと思いませんか?

「笑い」といっても微笑みから大笑いまで種類はさまざまですが、作り笑いであっても「笑う」行為には健康効果があるといわれており、実際に病気が回復したり免疫力が向上したという話があります。また、「笑い」には人間関係を円滑にする作用もあります。笑って話しかけると相手も笑う法則をご存じでしょうか? あくびをされるとつられてあくびが出てしまうように、人間は相手に影響されやすいところがありますね。

気持ちに余裕が持てない時は、私自身も笑顔を作っていることがあります。でも、そんな時こそ笑顔を作ってみましょう。「泣き面に蜂」よりは「笑う門には福来たる」の精神で過ごしていきたいものですね。



介護職員 藤田多美栄

### 今日のらんこ



お祭り、わっしょい

アウルコート  
のいやし課長  
キャバリアの  
「らんこ」です

### ことはのトピラ

#### 防火

日ごろからの訓練で暮らしを守りましょう

職員は万一の火災に備えて年2回消防訓練を行い、消火・避難誘導・通報を学んで安全確保に努めています。消防訓練にはご入居者様も参加でき、消火器の取り扱いや避難経路などを学べます。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

## アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3

TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内  検索 <http://www.owlcourt.jp>



## 岐路に立つとき

代表取締役 武田 治信

人にはこれから進む方向を決める刹那、右か左か迷うことがままあります。私自身もこの年になるまで何回かの転職を経験し、何度かの職場異動を決断しましたが、振り返ると、その都度右か左か悩みながらも、最終的には今の場所(アウルコート真駒内)に辿り着くための決断だったのだと改めて思います。

というのは、先日久しぶりに私の好きな作家・沢木耕太郎氏の『右か左か』を読んで、共感するところが多かったのです。かつて沢木氏は、その著書『敗れざる者たち』で、円谷幸吉、長嶋茂雄、輪島幸一各氏を例に、必死にトレーニングを積み上げて敗れてしまう人と成功する人との狭間を取り上げました。著書『テロルの決算』では当時の社会党委員長・浅沼稲次郎氏を暗殺した山口

二矢のことを書きました。どちらも30年以上前の作品ですが、人は誰も自分の進む道を探るために「右か左か」葛藤しながら生きてゆくものだというメッセージが込められていたように思います。

おそらくご入居されている皆様も、入居時に何のためらいもなく入られた方は少ないのではないのでしょうか。このホームで良かったのだろうかという葛藤を乗り越えての貴い決断があったのだらうと思います。だからこそ私たちはできるだけご希望に添えるよう、お一人おひとりの日常の暮らしをお守りしていかなければならないと考えています。日々「右か左か」迷いながらも。そして、先日亡くなったアップル社のスティーブ・ジョブズ氏の言葉「技術が教養や人間性と結びついてこそ、人の心を動かすことができる」ことを心に刻みながら。



▲「お名前は?」「おいくつですか?」と互いに自己紹介

## 敬老の日にちなみイベント多彩

今年の敬老の日は9月19日(月)。アウルではご入居者様のご長寿を祝ってさまざまなイベントを行い、期せずして「敬老ウィーク」となりました。

9月14日(水)午後には敬老会を実施。今年も澄川幼稚園バラ組の子どもたち15名が遊びに来てくれ、踊りを披露したほか、ご入居者様とお話ししながら一生懸命手遊びを教えてください、あたたかな世代間交流にご入居者様は皆さん目を細めていらっしゃいました。子どもたちからプレゼントされた松ぼっくりの飾りは、今も大切に皆さんのお部屋に飾られています。

この日の昼食は、市松模様



お一人おひとりに手作りのプレゼント。中はメッセージ付きの松ぼっくり人形

がおめでたい金銀豆腐の付いたちらし寿司です。昼食前にはアウルから今年賀寿を迎えた10名に、フクロウのイラストが描かれた名入れ箸をプレゼント。毎年贈呈しているお祝い品ですが、古希から卒寿まで10名という人数は過去最多で、喜びもひとしおでした。

敬老の日当日の昼食は、お赤飯にお刺身や茶碗蒸しの付いた、豪華なお祝い御膳。職員も全員が出席して、敬老の日に皆さんのご長寿をお祝いしました。



▲澄川幼稚園バラ組の皆さん



▲敬老の日のお祝い御膳

## これからもずっと元気でいてほしいから

ちょっと異色の行事だったのは、9月13日(火)に行われた感染対策勉強会です。これまでは職員のみが対象でしたが、今回はご入居者様と一緒に学ぼうと取り組み、ポスターなどで参加を呼びかけました。その結果14名が参加され、10名の職員とともにノロウイルスについて勉強。資料の読み合わせで基礎知識を学び、実技として、感染源となる吐瀉物の処理を練習しました。

元気に齢を重ねるには、健康に対する意識向上が大切です。ご長寿を祝うことはもちろん、健康を支える行事も加え、敬老の気持ちをお伝えしたアウルの敬老ウィークでした。



▲盛会となった感染対策勉強会



▲実技も交えて感染対策を学習

# 交流、ごちそう、学びともりだくさん 充実のアウル敬老ウィーク



### ●7/11(月) 食中毒予防に工夫

7月6日、札幌市が食中毒警報第3号を発令。それを受け、アウルの栄養士が予防3原則を記した手作りマグネットステッカーをご入居者様にプレゼントしました。



### ●8/31(火) アウル農園のおじゃが

夏野菜をたくさん収穫したアウル農園。この日は茹でたじゃがいもがおやつ。みんなで皮をむき、バターや塩辛などの味付けで大地の恵みを堪能しました。



### ●9/20(火) トートバッグに絵付け

絞り染めのストールやエコクラフトなど、さまざまな作品づくりに挑戦している創作活動。この日は、トートバッグに思い思いの絵を描きました。



### ●7/31(日) レストランコンサート

恒例のいきいきサロン。第8回となる今回は、お馴染みの札幌交響楽団チェロ奏者・荒木均さんが率いるノン・ノーマリア弦楽四重奏団をお迎えしました。



### ●9/3(土) 人気上昇中、アウル喫茶

月1回、レストランがカフェになるアウル喫茶。毎回参加者が増え、4回目のこの日は12名のご入居者様が、職員を交えてお菓子付きの茶話会を楽しみました。



### ●9/21(水) 恒例セミナーに出展

年2回開催され、アウルも毎回出展している全国有料老人ホーム協会セミナー。「高齢期の選択」と題された今回は139名が来場し、講演に耳を傾けました。

